



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

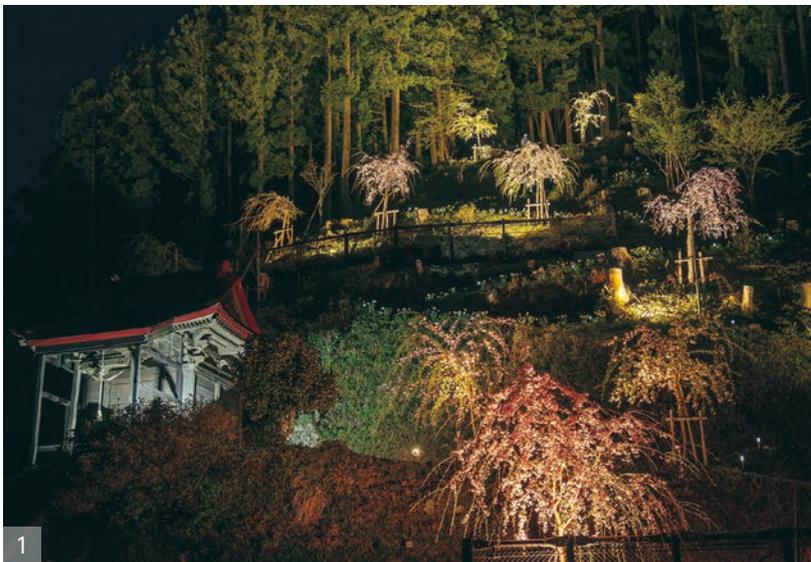
第6回 内町地区



2



3



1

1_10年以上をかけ「楯山を愛する会」が整備。近年は桜の季節にライトアップを実施している 2_平成23年当時の楯山。今とは違ううっそうとした印象 3_平成27年には看板が設置され、視点場としての整備も進んでいる

優雅に鯉が泳ぐ大堰。楯山の眼下には白壁が映える美しい街並み。観光客も多く訪れる、そんな町中心部に内町地区は位置しています。地区の名称は、城郭の「内の町」という意味。かつてこの地に丹与惣左衛門が築いた金山城の直属家臣らが居住していたことを示すと言われています。現在では町営住宅等を含めた約74戸に200名ほどが暮らしています。

地域づくりに対する団結力の強さが内町地区一番の自慢です。ボランティアグループによる数多くの活動もそれを証明しています。「ホテルを見て遊ぶ会」は、町の中心部でもホテルが生息している場所があることをPRしようと発足。解散した今でも6〜7月のシーズンになると、多くの人がホテルを一目見ようと訪れます。また、地区内外の人にシンボルである楯山に親しんでほしいと立ち上がった「楯山を愛する会」。平成21年から、県みどり推進機構の助成を活用しながら、参道の整備や散策路への看板設置などを行ってきました。その後、しだれ桜を植樹し、桜山の復活と眺望広場を整備するに至っています。

「内町も後継者不足が悩みの種だが、やはり地区の中心は若者だ。先日の豪雨災害時にも積極的に動いてくれた」と話すのは区長の丹正志さん。若い人が動く周りにも良い刺激となり地区が活発になる、と続けます。内町地区は消防団活動も盛んで、毎年、金山まつりでは若連として山車を制作しています。脈々と受け継がれてきた伝統こそ宝物。これからも内町地区では「町づくりは地区から発祥」を合言葉に、着々と町づくりを進めていきます。

編集 幸記

▼今月号の編集中心と気付いてしまったのです。自分の成人式から10年も経ってしまったことを。みんなに会いたい！などと思っていると「30歳の成人式」なるイベントの開催が増えているという朗報を耳に。同級生のどなたか企画をお待ちしております。

▼今年の新成人は59名。十年前と比較すると40名以上も減少しています。これから10年後、20年後、さらに先の未来はどうなるのか。不安もありますが、未来をつくるのは今を生きる皆さんです。新成人にエールを贈り、編集幸記をこじます。(つま)

金山町の人口は、5,576人 (7月末現在)

男性 2,699人 (-4)
女性 2,877人 (-8)
世帯数 1,770世帯

▼7月の異動
出生 1人
死亡 8人
転入 3人
転出 8人